

# Market Report

2025年7月号



# インドネシアのFFB生産実績

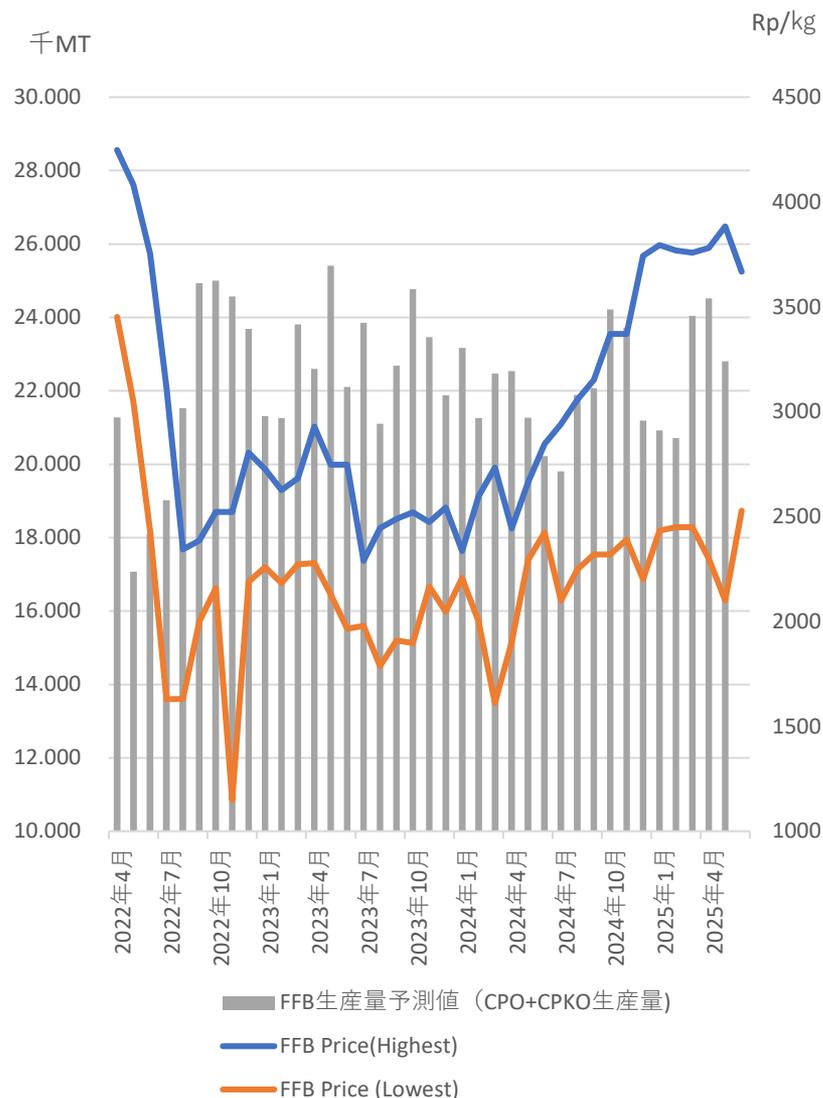
## 1. 実績

2025年6月のインドネシア国内22州での作付年齢10~20年の平均FFB価格は2,987 Rp/kgであり、前月の5月の3,103 Rp/kgより価格が4%減少している。6月中の最高価格は、西スマトラ州で3,357 Rp/kg、最低価格は、バンテン州で、2,528 Rp/kgであった。

## 2. FFB生産量予測

2025年からパーム椰子を栽培している零細農家の樹齢の高齢化や、高齢化したパーム椰子の植え替え等で、FFBの生産量がおちるとみられている。依然、雨期に入っておりFFBの生産性が制限されやすい状況が続いている。

インドネシア国内のFFB価格(最大・最小)  
パームオイル生産量から推定されるFFB生産量



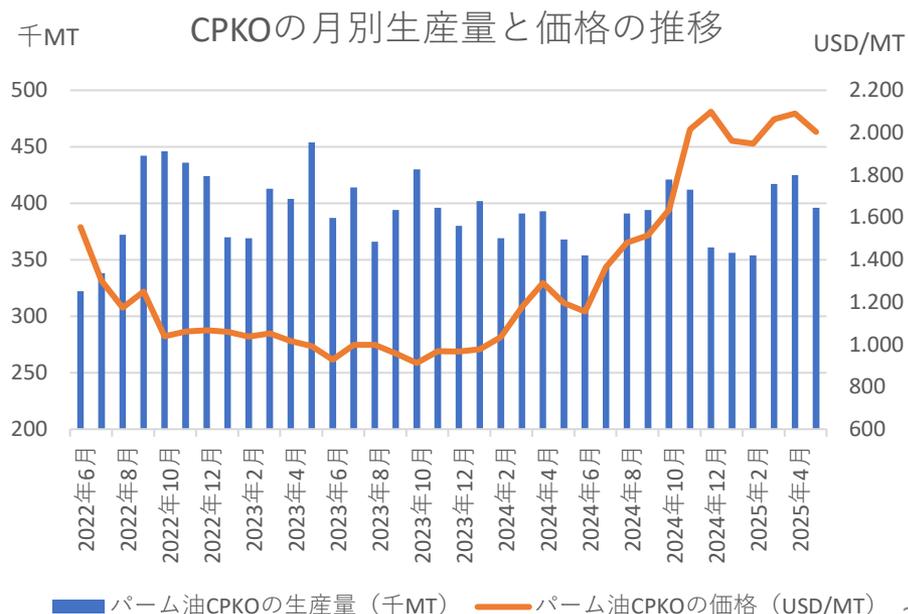
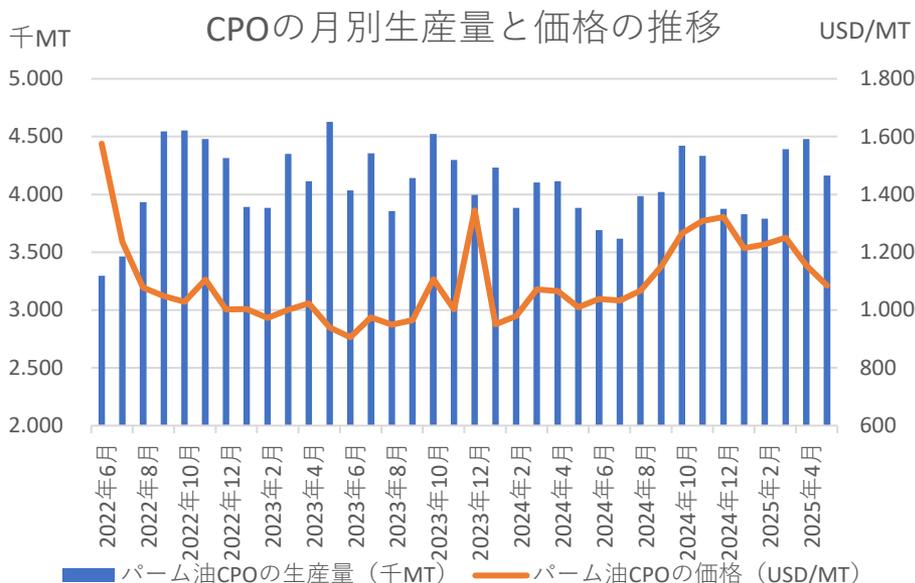
# インドネシアのパーム油CPO及びCPKOの生産実績

## 1. 実績 (CPO)

CPO (CIFロッテルダム) の平均価格は2025年5月の1,084 USD/MTと比較して2025年6月は1,156 USD/MTとなり、72 USD/MT (前月比で約5%) 増加した。また、2024年6月のCPO平均価格1,039 USD/MTと比較すると、117 USD/MT (前年比で約11%) 増加した。

## 2. 実績 (CPKO)

CPKO (CIFロッテルダム) の平均価格は2025年5月の2,003 USD/MTと比較して2025年6月は1,859 USD/MTとなり、149 USD/MT (前月比で約7%) 減少した。また、2024年6月のCPKO平均価格1,156 USD/MTと比較すると、703 USD/MT (前年比で約38%) 増加した。



# インドネシアからのPKSの輸出量及び輸出額実績

## 1. PKS輸出実績

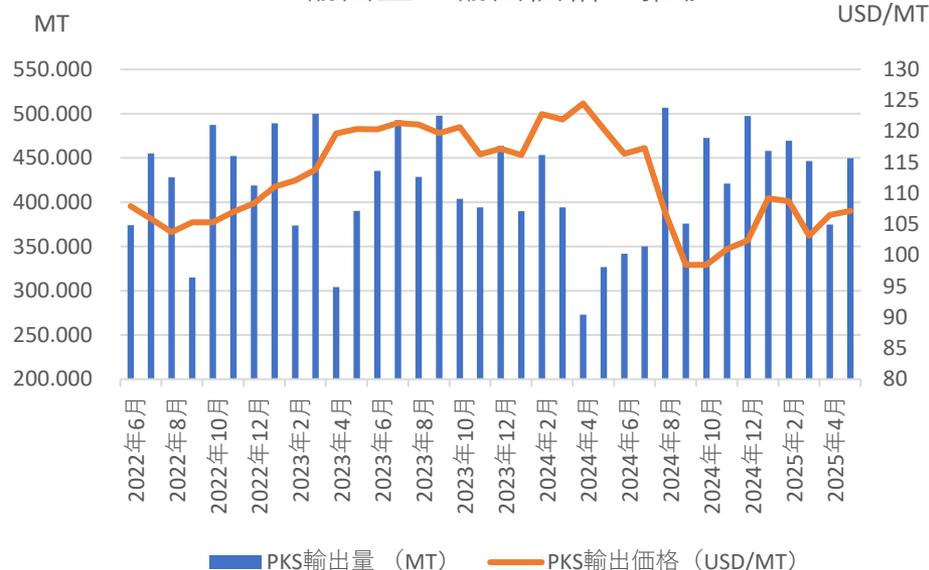
2025年5月のインドネシアのPKS輸出量は、449,647トンとなり、2025年4月の輸出量374,901トンと比較すると74,746トン（前月比で約20%）の増加となった。

前年2024年5月のPKS輸出量326,815トンと比較すると、2025年5月の輸出量は122,832トン（前年比で約38%）増加した。

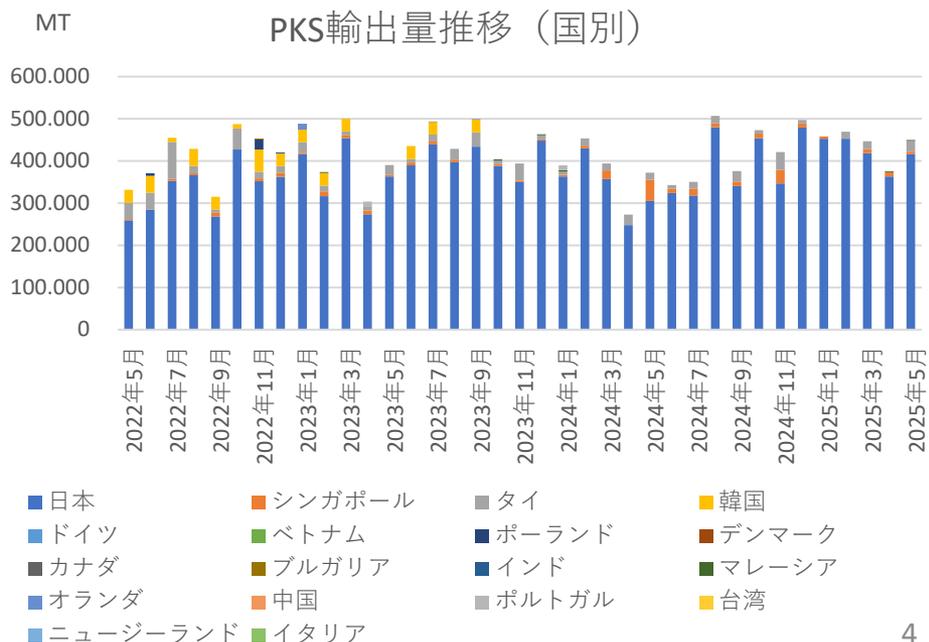
2025年5月のPKS輸出額は48,187,002USDを記録した。

2025年5月最大の輸出先は日本であり、輸出量は416,202トン、外貨換算額は44,953,858USDを記録した。（日本へのPKS輸出量は、インドネシア全体の輸出量の約96%を占める）日本への輸出量を4月の輸出量363,142トンと比較すると53,060トン（前月比で約15%）の増加となった。

PKS輸出量と輸出価格の推移



PKS輸出量推移 (国別)



# FFB、CPO、PKS、インドネシア国内施策の見通し

## 1. FFB価格、CPO価格の見通し

-乾季の影響で4,5月はCPOの生産量が増加、CPOの価格が減少している、今後雨季の影響をうけるまでは、価格が減少傾向を続ける可能性がある。

-パーム生産国であるインドネシアがB40のバイオディーゼル(CPO:40%、軽油60%の混合燃料)の販売計画に伴い、CPOの輸出能力が減少する見込みとなっている。

## 2. PKS価格の見通し

昨年10月に、大きくPKSの輸出量が減少し、PKSの価格も下がった。その後、輸出量が回復傾向にあり、PKSの価格も上昇している。雨期により、PKSの発生量が下げ基調であるため、PKS需要が価格へ影響することが予想される。

## 3. インドネシア国内の政策

パーム生産国であるインドネシアがB40のバイオディーゼル(CPO:40%、軽油60%の混合燃料)の販売計画、またB50の普及も進めるに伴い、国内CPOの需要が高まっている。

また、エネルギー分野では、尼国のエナジーミックスの目標達成のため、EFB、Fiber、Frond、OPT等のPKS以外のパーム残渣が今後注目されていくと思われる。